

「地域防災の決意新たに分列行進」



一糸乱れず分列行進を行う消防団員

市消防団（千葉昭道団長、団員1985人）の出初式が1月6日、市文化会館（Zホール）などを会場に行われました。時折雪の舞う寒空の下、統監（小沢昌記市長）による観閲が行われ、その後、団員のほか婦人消防協力会員や消防車両などが統率のとれた分列行進を見せました。式典では団員の表彰が行われ、地域防災の士気を高めました。

「指導隊初点検」



整列し点検を受ける隊員

市交通指導隊（小原里司隊長、隊員94人）の初点検が1月5日、市役所講堂で行われました。

前沢温泉舞鶴の湯（小野寺三夫館長）の入館者数が1月24日、新市誕生から数えて延べ100万人を達成しました。100万人目の入館者は、気仙沼市から来館した齊藤なほ子さん（66）ご夫妻でした。10年程前から月に1、2回のペースで訪れるという齊藤さんに記念品を花束を贈呈。また、その前後の来館者にも記念品を贈りました。



花束を抱える齊藤さんとその前後の来館者

この日は、89人の隊員が出席し整列。小沢昌記市長、渡辺忠市議会議長のほか、水沢・江刺両警察署長など関係機関の来賓が隊員一人一人の服装と手帳、警笛を点検しました。小原隊長と小沢市長がそれぞれ訓示を述べたほか、来賓からの激励の言葉で、隊員は地域の交通安全に対する取り組みへの決意を新たにしていきました。

「スポーツの功績をたたえ表彰」

市教育委員会スポーツ表彰・市体育協会表彰式が1月19日、プラザイン水沢で行われました。優秀な成績を収めた選手やスポーツの普及振興に貢献した指導者など110人と15団体を表彰。三田信一教育委員長が「皆さんの活躍は市民に力を与えました。今後も活躍を期待します」とあいさつを述べ、受賞者はさらなる飛躍を誓っていました。



スポーツ栄光賞を受賞した窪田智志さん

「マラソンランナーの那須川選手が来庁」



南部鉄器の香炉を受け取る那須川さん

昨年の横浜国際女子マラソンで2位に入賞した那須川瑞穂さん（ユニバーサルエンターテインメント所属）が1月17日、市役所で小沢昌記市長と対談しました。水沢区出身で奥州大使を務める那須川さんは「実業団でマラソンを続ける選手が、岩手からもっと増えたらいいですね。私も明るい話題を届けるよう頑張ります」と語りました。

■ 森林組合開所式



看板の除幕をする関係者

胆江地区の2森林組合が合併した奥州地方森林組合（小原剛一郎組合長）の開所式が1月4日、江刺区西大通りの同事務所で行われました。関係者など約70人が見守る中、除幕を行い看板を披露しました。同組合は県森林組合連合会が進める県内組合の合併第1号で、組合員5476人、所有森林面積は2万8321畝となりました。この合併により経営基盤を強化し、足腰の強い組織をつくり上げていくことで、いっそうの林業振興が期待されます。

■ 絵本には楽しさがいっぱい

読書ボランティア等研修会（市教育委員会主催）が1月26日、江刺生涯学習センターで開催されました。岐阜県在住の人気絵本作家である講師の高島純さんは、言葉遊びや絵本の読み聞かせを交えながら講演。市内で活動する読書ボランティア団体のメンバーなど参加した45人は、楽しみながら絵本の魅力を再確認していました。



高島純さんの楽しい話に聞き入る参加者

■ いのちの大切さを考える講演会



命の大切さについて語る水谷修さん

市は、自殺対策緊急強化事業の一環として1月20日、市文化会館（Zホール）を会場に「夜回り先生」として知られる水谷修さんの講演会を開催しました。会場には約900人が詰め掛け「生きたくても生きられなかった人たちが託された命の糸を絶やさず、次の世代につないでほしい」という講師のメッセージに、深く感銘を受けていました。

■ おめでたい！百歳を祝い2人に記念品

市は、1月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

今野マサヨさん 江刺区岩

谷堂字下苗代沢Ⅱは北上市に生まれ、33歳のとき、故・金蔵さんと結婚。1男2女をもうけ、孫8人、ひ孫26人、やしゃご11人に恵まれました。仕事で忙しかった次女の多嘉子さんに代わり、孫たちの世話を一手に引き受け、高校を卒業するまで面倒をみました。若い頃に病気を患った経験から、健康には気を遣いました。85歳まで毎朝3時頃に起



記念品を受け取るマサヨさん

き、近所に住む友人と散歩をしていたそうです。この散歩が長寿の秘訣であったと多嘉子さんは語っています。

マサヨさんは、花や植物が大好きで、今でも自宅で多くの種類の植物を育てています。若原秀康江刺総合支所長から記念品を受け取ると、嬉しそうな笑みを浮かべました。

藤原サタ子さん 水沢区字北丑沢Ⅱは同区佐倉河に生まれ、20歳のころに故・吉右エ門さんと結婚。1男3女をもうけ、孫7人、ひ孫11人に恵まれました。若くして夫を亡くし、家族を支えながら、おとしまで畑に出て仕事をしています。

サタ子さんは、デイサービスでみんなと会話すること、近くに住むひ孫がよく会いに来ることが楽しみで、それが長寿の秘訣と語っています。また、昨年10月に親戚が集まり、100歳の前祝いをしてくれたことをとても喜んで